

氏名	大澤 傑
学位の種類	博士(安全保障学)
学位記番号	第 6 1 6 号
認定課程名	防衛大学校総合安全保障研究科後期課程
学位授与年月日	平成 31 年 3 月 17 日
論文題目	個人支配体制の比較政治—クライアントリズムと体制変動—
審査担当専門委員	(主査) 青山学院大学 教授 大 芝 亮 桜美林大学 教授 大 中 真 筑波大学 教授 近藤 康史

審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、独裁体制の下位類型である個人支配体制の変容・崩壊過程について、法則性はみられるのかという問いを提起し、これを比較政治の理論を用い、複数の事例分析を通じて考察したものである。まず、独裁体制について、党、軍部、個人による独裁という3つの類型に分類し、個人支配体制を支配者が構築するパトロン＝クライアントネットワークによって維持される体制とする。そして、このネットワークと体制変動との関係を、フィリピン、インドネシアほか、合計9事例を取り上げて分析している。結果を比較し、政治エリート（軍部と政党のエリート）は、パトロン＝クライアントネットワークが機能不全に陥ると反体制化するとの仮説について、条件付きで支持されるとしつつも、軍部が準忠誠であっても反体制派が軍部の中枢を占め、かつこの勢力が政党内においても広く支持されている場合には、軍事クーデターの行動につながることもあるとする。また、社会における反対勢力を含めたより緻密なパトロン＝クライアント関係を理解するためには、より広く、いわゆるコーポラティズムの概念を用いることも有用であると述べる。

以上のような内容の本論文は、個人支配体制について、独裁体制との関係を理論的に整理している点、個人支配体制と体制の崩壊過程を、パトロン＝クライアントネットワークに焦点をあてて分析している点、そして複数の事例研究をとおして考察している点に特徴があり、優れた論文である。ただし、軍部や政党による独裁体制においても、集団指導体制もあれば個人支配体制もありうることを考えると、個人支配体制について、さらに議論を発展させることができる。また、パトロン＝クライアントネットワークが有効に機能しているかどうかの判断基準

も、より明確にすることができよう。このような課題はあるものの、本論文は、比較政治学における政治体制と体制変動に関する研究に多大な貢献をするものであると判定し、博士（安全保障学）の学位を授与するに値する論文であると認定する。